

地域ぐるみで守ろう

大切な農業資源

今、私たちが暮らしている中で、普段何気なく目に映る田園風景は、四季折々に様々な表情を見せ、知らず知らずに感動を与えてくれたり、心を和ませてくれたりします。

この豊かな水と緑に囲まれた美しい田園は、農家の方々が、長い年月をかけて培ってきた大切な農業資源です。

このように、農地、農道、ため池、

防風林、農業用水路など一体となった農業資源は、農作物を作るといった役割だけでなく、そこで育つ作物などによって空気をきれいにしたり、大雨の時には水を蓄えて洪水を防いだりといった働きもして、私たちの生活環境を守るためには欠かせない存在となっています。

この、私たち共通の大切な財産を子どもたちに引き継ぐために、これ



からも守り続けていかなければなりません。

しかし、ここ最近の農業地域では、過疎化や高齢化が進み、農業資源の適正な管理や維持が難しくなる所が増えています。

そのため、国は農地・水・環境保全向上対策として豊かな自然や景観を保つことを重視した農業への転換を進めています。

市も今後の農業の維持、発展のため、また農地や農業用水等の農業資源や景観を守るため、今年から5か年計画で地域の皆さんと一緒に新たな取り組みを進めています。

農地・水・環境保全向上 対策のしくみ

この対策は、共同活動と、この活動と一体的に取り組む営農活動を行う団体を国・道・市が応援するものです。

これらの活動を行うためには、農業者だけでなく、地域住民、自治会、老人クラブ、婦人会、土地改良区、農協、学校など、様々な方や団体が参加して活動する組織が必要になります。

この組織は、地域の目指すべき方向と取り組む活動の概要や皆さんの

共同活動とは

農地・農業用水等の保全と、農村の自然や景観などを守る地域ぐるみで取り組む活動。

営農活動とは

化学肥料と化学合成農薬の使用を大幅に低減するなど、農業者ぐるみで行う環境にやさしい活動。

役割などを決め、これに沿って地域の方が一丸となって活動を進めます。

市の状況

市は、昨年3月の合併により耕地面積が大きく増え、なかでも、水田の面積は1万6千ヘクタールを超え、全道一の面積となりました。また、農家戸数も1千700戸余りで、名実ともに北海道有数の穀倉地帯となりました。

しかし、その一方で農業就業人口は、この15年間で4割も減少し、65歳以上の高齢者の割合が1.8倍に増加するなど、農業資源の適正な維持管理が難しくなっています。

若松町、西川町、上幌向町でつくる北西地域資源保全協議会が行った、農地へのひまわり植栽には、地域の皆さんが一丸となって取り組みました。



地域の取り組み

すでに今年4月から、農業地域が共同で水管理を行う土地改良区の支援組合ごとに、43の活動組織が共同活動に取り組んでいます。

それぞれの組織では、地域の共通の財産である農地や水路の保全はもちろん、農村の景観を良くするために、様々な特色ある活動に取り組んでいます。

また、これらの活動と併せ、環境

にやさしい活動に取り組んでるところもあります。

- 農道脇にソメイヨシノの苗木を植栽
- 歩道に花を植えたプランターを設置
- 水路に水車を設置



- 排水路沿いにハープを植栽
- 農地にヒマワリを植栽

この他にも様々な活動を行っており、地域ぐるみで美しい景観を守るために一生懸命に取り組んでいます。

◇
今あるこの田園は、これからも守っていかねばならない私たちの大切な財産です。

それを支えてきたのは、農家を中心とする地域が共同で行っていた活動でしたが、農業経営者の高齢化などにより、農地とその周辺環境や資源の適正な維持管理が難しくなってきています。

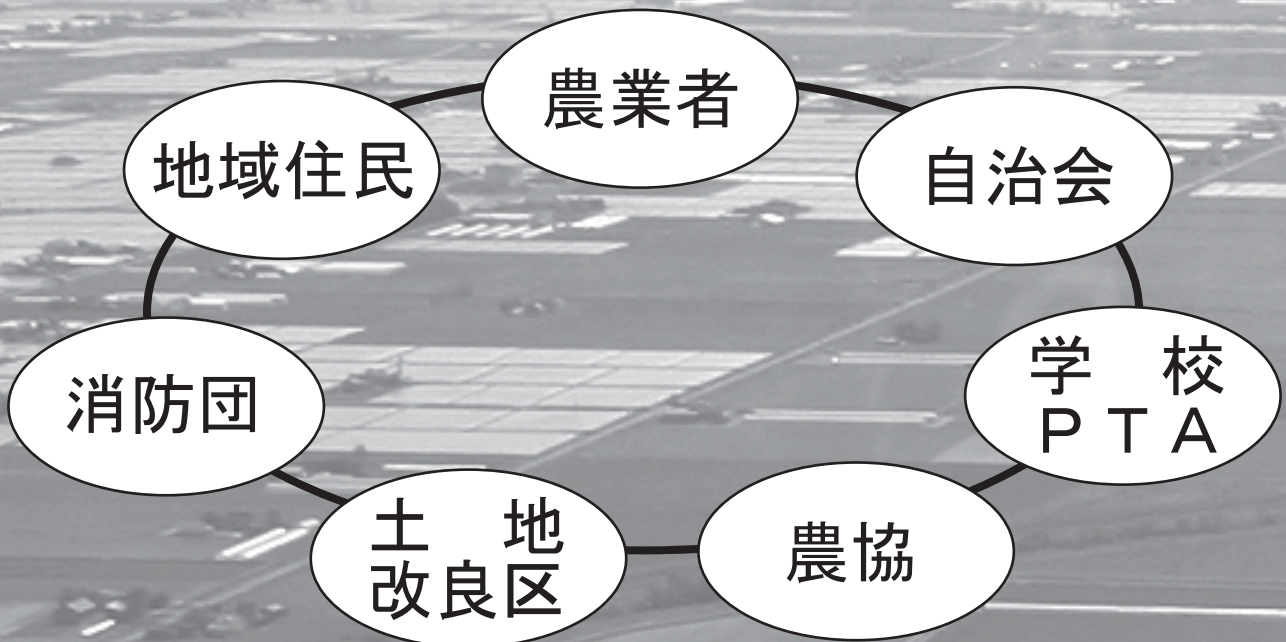
こうした中、農家の皆さんと、その地域に住む皆さんが一緒になって農地・水・環境を保全しようという取り組みは、今、始まったばかりです。

この取り組みにより、地域の財産である農地・水・環境を守り、素晴らしい農村景観が維持され、そして農業が長く営まれることにより、安全で安心な農産物の生産も期待されます。

皆さんも、積極的に地域の環境を維持する活動に参加してみませんか。

問合先 市農業資源保全課

活動組織は、このような人たちとこんな役割で取り組みます



役割分担

農業者…農道・水路周辺の草刈、農道の砂利補充などを行う。なお、農業施設等の保守・管理などを構成員と連携して実施する。

地域住民、自治会、消防団…農業施設等の定期的な巡回・清掃を他の構成員と連携して実施する。

学校、P T A…農業施設等のごみ拾いなどの清掃活動を他の構成員と連携して実施する。

土地改良区、農協…農業施設の保守・管理の指導や助言、資材や機材を貸与する等の支援を行う。